

Biwako Kusatsu Campus Master Plan 2015 Ver.1

SUMMARY

びわこ・くさつキャンパスマスタープラン2015 Ver.1 / 概要版

立命館大学のキャンパス創造

キャンパスは街である

「学生・教職員」が参画する街づくりを進めます

立命館大学では、教育改革とキャンパス整備を総合的に進める「キャンパス創造」に取り組んでおり、学生・教職員の教学・研究・学生生活を支える良好なキャンパス環境・空間の具体化に向けて、キャンパスで生活する学生・教職員が参画する機会を設けながらキャンパスマスタープランを策定し、その具体化に向けた検討を進めています。

立命館大学の キャンパスマスタープランとは

キャンパスマスタープランは、アカデミックプランを支え、中長期的な視点で良好なキャンパス環境を実現するために、キャンパス計画のビジョンやフレームワークを定めるものであり、具体的なアクションプラン策定の際の指針として運用する。なお、アカデミックプランや経営戦略等の時代に応じた変化に対応する為、キャンパスマスタープランは定期的(5年程度)に更新を行いながら継承されるものである。

(全キャンパス共通)

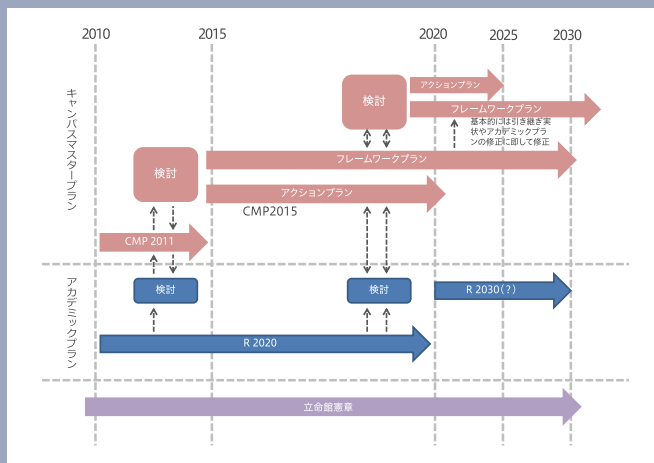
キャンパス整備の空間的コンセプト

1. 多様なコミュニティ形成を支える空間整備
2. 優れた学生・研究者を育成する国際基準の教育・研究・文化・スポーツ環境整備
3. 高いQOL*が支える優れたアメニティや自然環境、エコロジー、防災への配慮
4. 国内外・地域への発信・貢献の場の整備とシステムの構築
5. 歴史・文化的コンテクストを踏まえたキャンパス計画

* Quality of Life の略称。生活の質。

計画の実現に向けた検討と方策

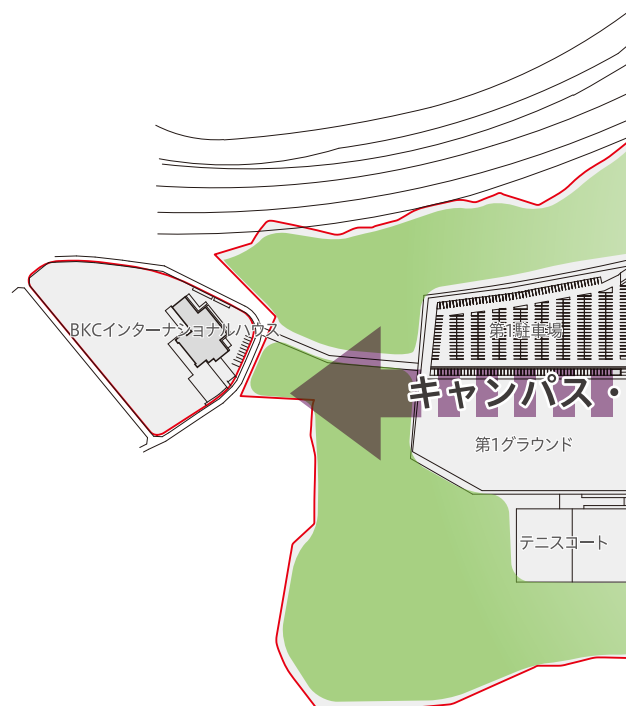
- フレームワークプラン(15~30年スパン)による長期的な計画方針の検討
- アクションプラン(5年サイクル)による計画の実行に向けた短期的な検討
- リーディングプロジェクトの活用による複合的な検討の遂行
- 各方針の整合性を保ちながら計画的かつ総合的な検討
- 関連部局と連携しながら方針の検討を深める
- 現状やニーズの把握



建設事業に求められる時間を考えアクションプランのベースとなるフレームワークプランは15~30年スパンを見据えつつ、アクションプランと同じ5年サイクルで確認、更新する。



▲ 空から見たびわこ・くさつキャンパス(2007年)



キャンパスイメージ

世界水準の教育・研究、知見、技術を創出し、
世界・地域へ発信するイノベティブ・キャンパス

びわこ・くさつキャンパスの空間コンセプト

- 1 | 3つの主軸と緑地を基本骨格として
活かしたキャンパスづくり
- 2 | 敷地の地形や水系に配慮した、
自然環境構造を活かしたキャンパスづくり
- 3 | ヒト・モノ・コト+まちがつながる、
まじわるキャンパスづくり

フレームワークプラン

線的・点的整備課題

2016～2045年までの中・長期的な検討課題。

キャンパスマスタープラン(CMP)にて方針を示し、15～30年スパンで検討を継続。

1. ゾーニング・建物配置
2. 交通
3. パブリックスペース
4. キャンパスデザイン
5. 緑地
6. 安全・安心
7. 環境配慮

フレームワークプラン検討の際に
踏まえるべき事項・前提条件

- ▶ アカデミックプラン
- ▶ キャンパスにおける法的条件
- ▶ キャンパスの現状把握
- ▶ ニーズの把握
- ▶ 評価基準の設定



部門別課題が多層レイヤで構成されているイメージ図

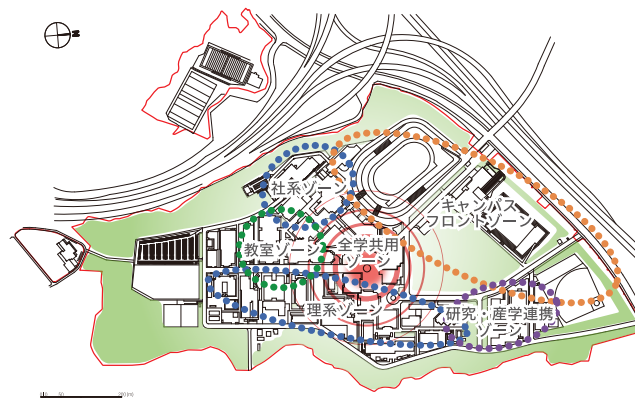
FRAME
WORK
PLAN

1. ゾーニング・建物配置

良好なキャンパス環境を長期的に維持するためには、法的な条件や建築条件を踏まえ、持続可能なゾーニング・建物配置を検討する必要がある。また、まとまりを持たせた学部・研究科のゾーン設定や機能配置によりコンパクトなキャンパスを目指す。

考え方

- キャンパスの特性を活かしたゾーニング計画
- キャンパスの緑地を活かした土地利用計画
- 持続可能なキャンパスの実現に向けた建物配置計画



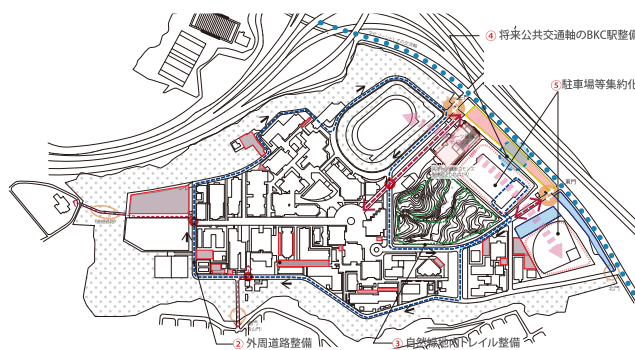
FRAME
WORK
PLAN

2. 交通

既存のキャンパス構造や公共交通を活かしながら、安全・安心で広大な BKC らしい快適なキャンパスとして検討を進めることが大切である。また、郊外型キャンパスとして地域や環境にやさしい交通システムについても考慮が必要となる。

考え方

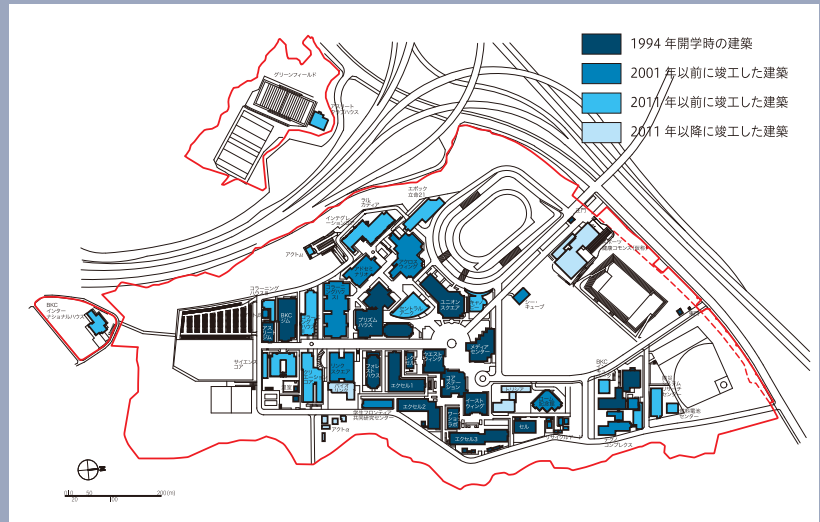
- 点在する駐車スペースはキャンパスフロントゾーンへ集約化する
 - 現在の建物間の駐車スペースは学生、教職員が利用できる歩行者動線、パブリックスペースとして再整備
 - 外周道路は車両通行を一方通行とし、キャンパス内循環バスの運行や歩道やランニングコース等の整備
 - 自然緑地にトレイルコースを整備し、希少植物等の保全と緑地の活用を両立する
- ※ただし、緊急車両や身体障害者等が利用する車両は必要な場所まで入構できることを考慮する。



《凡例》 ■ 既設バイク置き場 ■ 既設駐輪場 ■ 既設駐車場 ■ トランジットモール(案)
● キャンパスゲート ○ 閉鎖・制限キャンパスゲート or 連絡通路 ↔ キャンパスアプローチ(歩行者想定)

びわこ・くさつキャンパスの現状と課題

- 計画的な土地利用
- 施設・資産の有効活用、機能の再配置
- 施設の老朽化への対応
- キャンパス人口の増減
- 教学・研究・活動環境の充実
- 3キャンパス体制を踏まえた
びわこ・くさつキャンパスの魅力の発信
- キャンパスアメニティの向上
- 周辺環境との調和、キャンパス内緑地の強化
- 郊外型キャンパスとして求められる機能の充実



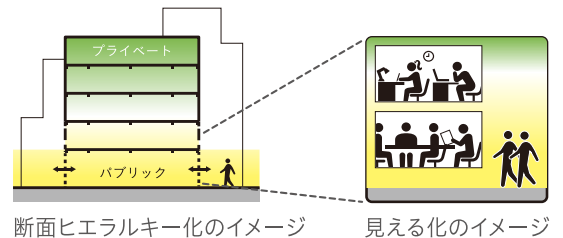
FRAME
WORK
PLAN

3. パブリックスペース

既存の主要軸や豊かな緑地を活かし、より効果的でお互いが刺激しあえるような、学びを促進する活気ある学びのコミュニティのための空間づくりを目指す。

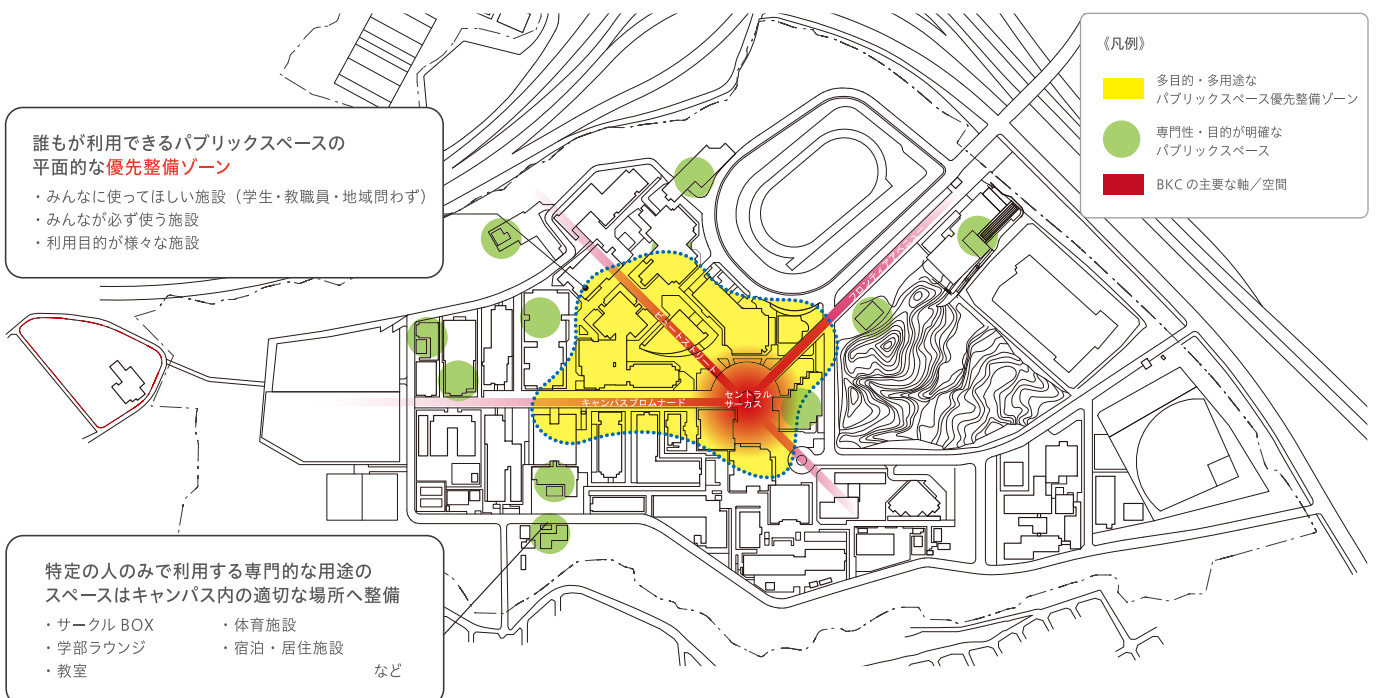
考え方

- BKCのキャンパス特性を活かしてパブリックスペースを形成
主要軸の活性化、優先整備ゾーンの設定
- パブリックスペースの空間的な序列化を図る
- 学生のいきいきとした学びや活動、交流が見える空間づくりを行う



断面ヒエラルキー化のイメージ

見える化のイメージ



アクションプラン

個別整備課題

2016～2020年までの短期重点検討課題。
アカデミックプランの検討と関係のある課題。

びわこ・くさつキャンパス

・アクロスウィングの活用
BKC 新学部構想との関連
経済学部を中心としたcommonsスペースとの関連

・アドセминаリオの活用
BKC 新学部構想との関連

・コラーニングIIIの活用

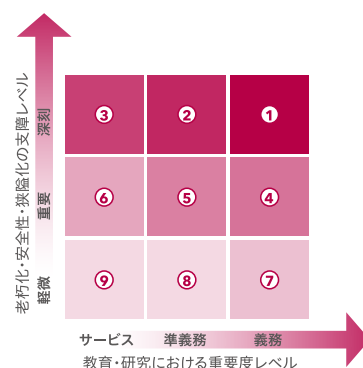
・食科学部(仮称)設置等の
新たな教学展開を受けた施設の整備

・学生・課外自主活動施設との関連

・学生窓口充実等サービス向上策との関連 など

キャンパス整備におけるファシリティマネジメント

良好なキャンパス環境の創造に向け、継続的にキャンパス整備を進めていくには、経営戦略や管理・運営面とのすり合わせが不可欠であり、学園全体のトータルファシリティマネジメントの検討が不可欠となる。関連各部局との協力のもと、フレームワークプランを踏まえながら検討を進めることが重要であり、具体的なアクションプランに繋げていくための必要予算の算出や評価基準の設定とのすり合わせなども必要となってくる。



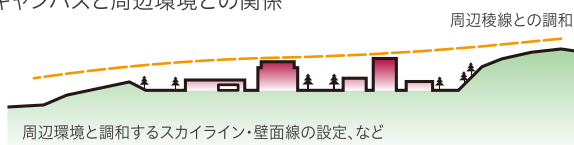
施設整備における優先順位の設定イメージ

FRAME WORK PLAN 4. キャンパスデザイン

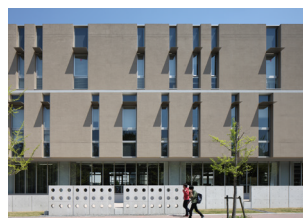
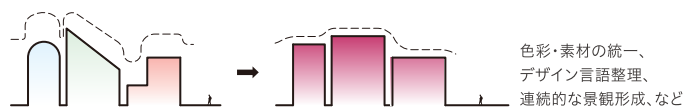
キャンパスは大学を印象づける重要な要素の一つである。キャンパスデザイン上の取り組みは、整備効果が利用者に伝わりやすく学生の満足度に直接つながるため、様々な活動と風景をデザインするよう、キャンパス毎のデザインガイドラインを設定することが有効である。BKC は緑に囲まれた景観の保全や調和を図り、広大な郊外型キャンパスとして魅力的な環境を維持・向上する上で大切な視点となる。

考え方

■ キャンパスと周辺環境との関係



■ キャンパス内の建築・空間



◀ 景観に配慮した
近年の施設整備実績



▶ キャンパス内に新たに
創出した屋外の居場所

FRAME WORK PLAN 6. 安全・安心

大学は不特定多数の人が訪れる場所であり、安全・安心なキャンパスづくりとともに、誰もが使いやすく、快適なキャンパスとして利用できるよう整備することが求められる。

考え方

- ユニバーサルデザインへの配慮
- バリアフリーへの配慮*
- 交通への配慮
- 施設の維持管理、老朽化への対応
- 災害・防災・防犯への配慮



*「立命館大学障害学生支援室」作成のバリアフリーマップ

リーディングプロジェクト

面的整備課題

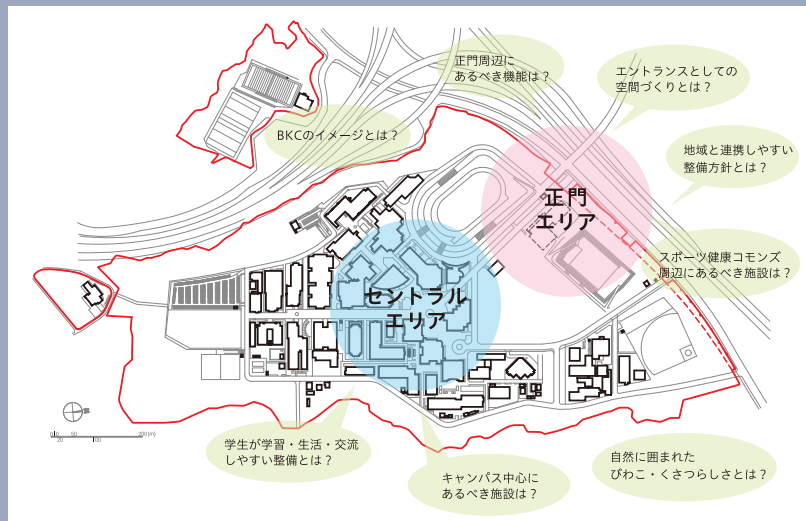
キャンパス計画（2011）をベースに
2つのエリアを重点検討エリアとして設定。

リーディングプロジェクトエリア

- ・ 正門エリア
- ・ セントラルエリア

実現に向けての作業

- ▶ 関連条件の整理を行う
- ▶ 専門的視点から具体的検討を進める
- ▶ 整備の優先順位を整理・提示
- ▶ 検討案を提示

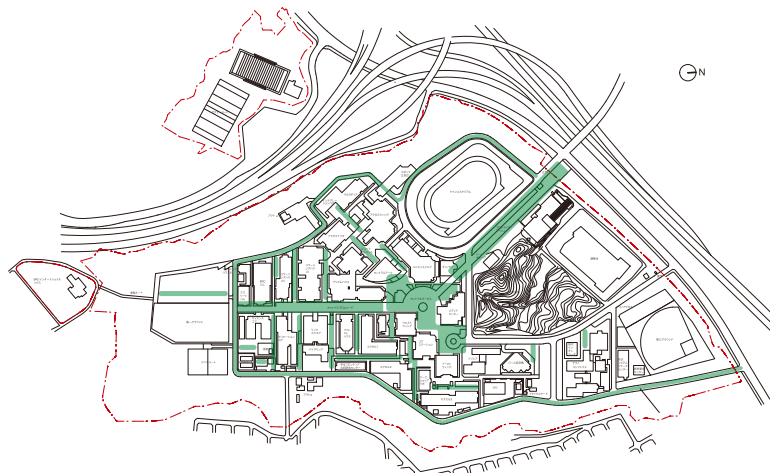


FRAMEWORK PLAN 5. 緑地

キャンパス外周部とキャンパスフロントゾーンにまとまった自然緑地が広がる。これらの環境を最大限に活かし、生態学的な配慮を行いながらキャンパス中心の緑を強化し、景観的な連続性を確保した緑あふれるキャンパスを目指す。

考え方

- キャンパスプロムナード: 移動と滞留に適した空間づくり
- セントラルサーカス: 芝生広場など憩いの空間づくり
- フロンティアアベニュー: キャンパス正門・アプローチの顔づくり、オフ空間の中心としての広場
- 建物間の空間: 木陰の広場づくり
- 外周道路沿い: 緑の散策路



FRAMEWORK PLAN 7. 環境配慮

持続・循環可能な地球環境の未来のため、人類・地球・自然に配慮し、既存のソフト面とハード面が連動した取り組みを更に促進させ、立命館大学の持続可能な環境配慮型キャンパス（サステナブルキャンパス）として、取り組むべき課題の整理や目指すべき方針について検討を進める。今後は、サステナブルキャンパス構築に向けた検討を深める必要がある。

考え方

- 学園全体としての環境問題への取り組みとしては「立命館地球環境委員会」主導で、省エネルギー、CO2 削減、節水、廃棄物対策、環境教育などの活動に取り組んでいる。



近年のキャンパス整備実績 (R2020 前半期整備)

2020 年を見据えた学園ビジョン R2020 に基づき、教育・研究・キャンパスライフの質の向上を目指したキャンパス整備を進めています。



◀ 2014年
トリシア



◀ 2012年
BKCインター
ナショナルハウス



◀ 2015年
バイオリンク



◀ 2013年
アクトα



◀ 2016年
スポーツ
健康 commons
(仮称)

学部・研究科と学生数

びわこ・くさつキャンパス

経済学部	3,321	経済学研究科	67
スポーツ健康科学部	950	スポーツ健康科学研究科	86
理工学部	3,945	理工学研究科	790
情報理工学部	1,962	情報理工学研究科	312
生命科学部	1,230	生命科学研究科	246
薬学部	680	薬学研究科	7

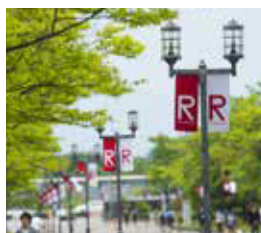
学部合計 12,088 人、研究科合計 1,508 人

BKC キャンパス合計 13,596 人

(2015 年 5 月 1 日現在)



キャンパス風景



びわこ・くさつキャンパスの沿革

- 1994 **びわこ・くさつキャンパス開設。理工学部が衣笠キャンパスから拡充移転。**
コアステーション、ウエストウイング、イーストウイング、プリズムハウス、フォレストハウス、エクセル1・2・3、セル、ワークショッププラボ、レクセル、ユニオンスクエア、メディアセンター、BKC ジム、ロボティック FA センター、SR センター 竣工
- 1995 C キューブ 竣工
- 1997 ハイテクリサーチセンター、産学連携ラボラトリー 竣工
- 1998 **経済学部・経営学部が衣笠キャンパスから移転新展開。**
アクロスウイング、アドセミナリオ、カラーニングハウス1、リンクススクエア、アスリートジム、アクトα・β、学術フロンティア共同研究センター 竣工
- 2000 ローム記念館 竣工
- 2001 エボック立命 21 竣工
- 2002 マイクロシステムセンター 竣工
- 2003 カラーニングハウス 2・3、アクトμ 竣工
- 2004 **情報理工学部を開設。**
クリーンションコア 竣工
- 2005 **テクノロジー・マネジメント研究科 (MOT 大学院) を開設。**
セントラルアーク、防災システムリサーチセンター 竣工
- 2006 燃料電池研究センター、キャンビー 竣工
- 2007 BKC グリーンフィールド 開設、アスリートクラブハウス竣工
- 2008 **生命科学部・薬学部を開設。**
サイエンスコア 竣工
- 2010 **スポーツ健康科学部を開設。**
インテグレーションコア、ラルカディア 竣工
- 2012 BKC インターナショナルハウス 竣工
アクトα 竣工
- 2014 トリシア 竣工
- 2015 **大阪いばらきキャンパス (OIC) 開設。**
経営学部、経営学研究科、テクノロジー・マネジメント研究科が OIC に移転。
バイオリンク 竣工
- 2016 スポーツ健康 commons (仮称) 竣工予定

びわこ・くさつキャンパスマスタープラン 2015 Ver.1 概要版



発行日 2016 年 3 月

発行 学校法人立命館

企画・編集 BKC 将来構想検討委員会、
2015 年度以降の BKC キャンパス整備計画検討部会
学校法人立命館 キャンパス計画室 / 学校法人立命館 総合企画課・管財課

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町 1 学校法人立命館 総合企画課

TEL 075-813-8130 / E-mail : keikaku@st.ritsumeikan.ac.jp

※本冊子はびわこ・くさつキャンパスマスタープラン 2015 Ver.1 の概要版です。詳細な内容については本編をご覧ください。

